

# 講演・学習会

## 「朝鮮学校 70 年の歴史」弾圧・民族差別とのたたかいに 学び、日朝市民交流の新時代に備えていく

日時 2015年9月26日(土) 13:30~16:30

場所 京都市北文化会館 地下鉄烏丸線 北大路駅1出口から徒歩約0分  
(京都市北区小山北上総町49番地の2 キタオオジタウン内)

○参加費(資料代) 500円

プログラム 開場 13:15 開場

13:30~14:30 演題「朝鮮学校 70 年の歴史」—弾圧・民族差別とのたたかい—  
講師 柴松枝さん(学校法人 京都朝鮮学園理事)

14:40~15:30 演題 「東アジアの平和とは?日朝市民交流の新時代(ニュー  
ウェーブ)に備えて」

講師 さとう 大 さん

(東アジア青年交流プロジェクト事務局長)

(文化・学術・市民交流を促進する日朝友好京都ネット(日朝友  
好京都ネット)事務局)

15:30~16:30 質疑応答

主催 朝鮮人道支援ネットワーク・ジャパン(略称:ハンクネット) 連絡先 090-8860-9961(竹本 昇)  
ホームページ: <http://www.hanknet-japan.org/> E-mail: [jimukyoku@hanknet-japan.org](mailto:jimukyoku@hanknet-japan.org)

### ハンクネットの活動について 「粉ミルクの人道支援にご協力を」

現在、かなりの改善が図られていますが、朝鮮では、1995年から始まる洪水と干ばつで食糧難に見舞われて以降、母親が死亡したり病気に罹ったりして母乳による育児が困難な乳児に対する粉ミルクが不足しており、人道的な支援を必要としている現状です。朝鮮人道支援ネットワーク・ジャパン(略称ハンクネット)は、2000年から朝鮮民主主義人民共和国(朝鮮)の育児院への粉ミルク支援活動を行っております。

ところで、日本政府と日本社会は、1998年8月の「テポドン」発射以降、人道支援を中止したまま今日に及んでいます。そればかりか、この間、朝鮮のおかれている現状と主張を無視し、他の国も同じように行っているミサイル発射実験、核実験に対して、朝鮮に限っては一方的に非を煽り、敵対意識の世論を形成してきました。そして、経済制裁と朝鮮学校授業料無償化適用除外にみられる弾圧を繰り返しています。これらは、日清・日露戦争および植民地支配を通じて形成された朝鮮に対する民族排外と差別以外のなものでもありません。私たちは、このような日本政府・日本社会の非を正し、朝鮮との友好的で平和的な関係を確立していくために人道支援活動を行っています。

粉ミルク支援活動に、ご協力をお願いします。

◎カンパ振込先 郵便振替 00930-6-154275 百五銀行上野支店(普) 566120  
名義:朝鮮人道支援ネットワーク・ジャパン

(2015年7月28日付けで、書留内容証明郵便物として総理大臣官邸宛てに郵送した決議文)

安倍晋三内閣総理大臣 殿

**朝鮮への制裁措置と総聯弾圧をやめること、朝鮮への脅威と敵対意識を煽ることをやめること、  
「戦争法」の撤廃を求める決議**

1923年9月1日に発生した関東大震災のとき、「朝鮮人が放火した。井戸に毒を入れた。」という官憲のデマに乗せられ、日本の民衆は、6千人とも7千人ともいわれる朝鮮人を虐殺した。このような過った行動を日本民衆にとらせたのは日本社会に存在する朝鮮人に対する民族排外主義と差別・敵対意識であった。その反省がないまま、そして、植民地支配に対する反省がないまま、現在、安倍内閣は朝鮮民主主義人民共和国（朝鮮）の核とミサイルの脅威を煽り、「戦争法」を制定しようとしている。朝鮮人に対する民族排外主義と差別・敵対意識は、今も変わらず存在している。

私たちは、すべての国に核の廃絶を求めるが、核実験とミサイル発射はインドやパキスタンなども行っている現状を日本政府は容認しながら、朝鮮についてのみ日米安保が朝鮮に与えている核の脅威を無視し、一方的に非として敵愾心を煽り、経済制裁と弾圧を繰り返している。また日本政府は、朝鮮とそれに関係する組織に対してなら何をしてもいいという考えのもとに、事あるごとに在日朝鮮人と朝鮮総聯関係組織を弾圧してきたが、安倍内閣においてその勢いが増している。

経済制裁や朝鮮総聯弾圧は、日朝平壤宣言で表明した「日朝間に存在する諸問題に誠意をもって取り組む強い決意」、「植民地支配によって、朝鮮の人々に多大の損害と苦痛を与えたという歴史の事実を謙虚に受け止め、痛切な反省と心からのお詫びの気持ち」に反する行為である。

また、安倍首相は、国際的な約束を重視するというのなら、朝鮮学校に対して即刻、高校授業料無償化を適用するべきである。法をねじ曲げてまで、国際人権規約に定められた民族教育の権利を踏みにじるのは、民主国家のすることではない。

朝鮮人に対する民族排外主義と差別・敵対意識によって総聯への弾圧を許すことは、安倍内閣の朝鮮敵視政策を許すことであり、アメリカと一緒に他国に武力で押し入る「戦争法」の制定に道を開くことである。朝鮮と敵対するのではなく友好的で平和的な関係を築いていこうとする私たちは、安倍政権に対して、朝鮮制裁措置と総聯弾圧をやめること、朝鮮への脅威と敵対意識を煽ることをやめること、「戦争法」の撤廃を求めることを決議する。

2015年7月24日

朝鮮人道支援ネットワーク・ジャパン

「講演・学習会 朝鮮総聯弾圧は何を意味するのか」参加者一同

連絡先 ハンクネット事務局 090-8860-9961 (竹本 昇)